

令和 7(2025)年度 会計専門職研究科 11 月入試
試験科目名：小論文

① 出題の意図

出題の意図は、世論の意見が分かれているような社会課題に対して、多角的に分析し、論理的かつ明示的に、自己の意見を説明できる文章力を有しているか否かを評価することにある。

また、会計専門職としての特定の専門知識を問うよりも、現代社会において広く認識されている基礎的な社会課題を問うことで、専門職としての基礎的な資質を測る意図で当該テーマを採用した。

② 評価のポイント

採点においては、以下の点を評価のポイントとしている。

- 解答の適合性
問われている内容を理解することが、専門職としての対話の前提となるため、問うているテーマに対して回答が適合しているかどうかについて評価のポイントとした。
- 意見の明確さ
専門職は、曖昧な見解を示すことは可能な限り避ける必要があり、敢えて曖昧にする場合においてもその理由を明確にすべきと考えられる。したがって、意見を明確に示すことができるかどうかについて評価のポイントとした。
- 多角的な視点
世論の意見が分かれるようなテーマに対しては、専門職は多角的な視点による分析が求められる。したがって、自己の意見ありきで視野狭窄に陥っているような分析ではなく、反対意見も包摂する分析ができているかどうかについて評価のポイントとした。
- 論理的な文章構成
専門職は限られた時間や、制限された文字数で、明瞭かつ論理的に説明する能力が求められる。したがって、読み手にとってのわかりやすさを意識した文章構成ができているかどうかについて評価のポイントとした。
- 日本語の基礎的理解
日本語の文法誤りや誤字脱字などについては、看過できない水準であれば、採点する際の考慮事項とした。